

平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	地域の自然・災害・文化を伝える「語り部～つなぎ手～担い手」育成事業
対象地域	気仙沼市 唐桑地区
活動概要	<p>気仙沼市唐桑地区(H18.3月合併)においては、これまで基幹産業としてきた観光客の減少や水産業の衰退に伴い、人口は減少傾向にあり、また高齢化率も約32%に達するなど、コミュニティの活力低下が大きな課題となっています。</p> <p>また、唐桑地区は過去、明治三陸・昭和三陸・チリ津波などによって大きな被害を受けており、当地区に存する施設を中心として当時の状況と災害に対する教訓を伝えてきたところであります。</p> <p>自然・災害・文化の伝承を「核」として、各年齢層の参加により被災経験を伝え、受け継ぎ、担い手となることで、地域の防災力を高めると共に、防災教育・研修機能の強化による交流人口の増加を図ります。</p> <p>当地域では、自然の恵みに感謝し、災害を乗り越え、安全への祈りを持ってこれまで生活してきました。住民の皆さんにも「語り部」としての参加や体験学習への協力などをいただくことを想定しておりますが、まさに地域の文化を後世に伝え、それを学ぶことで次代を担う住民が地域に誇りをもって暮らしていけることを目標としています。</p>
今年度の主な取組	<p>①「地域資源の発掘・情報発信できる体制づくり」 当地区における地域の資源(自然・災害・文化)・内容の検討を、地域住民、地元観光協会等と連携しながら行い、訪れる方が季節を通じて魅力を感じていただけるよう紹介できる体制と、あわせて情報を発信していくことができる体制の整備を図る。</p> <p>②「地域住民の参加による自然・災害・文化の伝承」 地域の方には「語り部」や「体験学習・事業への協力」を通じて、地域の自然・災害・文化の内外への伝承が行われることとなる。また、新たなやりがいの創出や、交流を通じることでの地域活性化も期待できる。なお、住民の参加を促進するため、防災研修事業の試行等を行う。</p> <p>③「防災教育・体験学習メニューの整備」 地区住民を主体とする、本協議会が中心となり、現在来館者が多いとは言えない「唐桑半島ビジターセンター」を利活用しつつ、地域内外の人が、特に地震・津波に関して研修できる体制やプログラムの開発を行い、防災教育・体験学習のメニュー整備を図る。</p> <p>④「地域住民の参加による地域防災力の向上」 防災教育・研修の受講に伴う防災意識の高揚のほか、自らが参加や事業への協力をすることでの意識啓発、及び研修目的で訪れる方との交流を通して一層の防災意識の高揚が期待され、それに伴い様々な取り組みがなされることでの、地域防災力の向上が期待される。</p>

活動結果	<p>現時点において地域課題の解決が完全に図られたとまではいえないものの、その一歩を踏み出せたものと考えられる。</p> <p>対象である「唐桑地域」においては、人口減少・高齢化という状況に伴うコミュニティの活力低下を「課題」と捉えている。今回の事業により、地域資源である「自然・災害・文化」の伝承を通じて、地域のみなさんに「地域への誇り」を持っていただくこと、また、防災教育や研修に伴う交流人口の増加によって地域の活性化が図られること、が期待され、実際、これまでの取組により、「語り部」や研修体制が整備されてきており、効果の発現が期待されている状況である。</p>
当初予想していなかった効果	<p>「唐桑地域」全体を対象としたアンケートを実施したが、非常に高い回収率となった。多くの回答が得られた背景には、元々地域に深い愛着があったことや地域を大切にしていきたいと考える気持ちがあったことはもちろんであるが、地元の方々からのお声かけがあったこともその要因と考える。</p> <p>また、本事業では、自然・災害・文化の伝承に取り組んでいるが、事務局としては「災害」を核と考えており、今後、ミニ防災講座等の実施を唐桑半島ビジターセンターにて実施していくこととなっている。そうした中、展示関係について、「災害の伝承」をテーマにしたマンガを、矢口高雄先生(代表作:「釣りキチ三平」)が描かれておられたことから、パネル展示の許可を得て、防災教材等とともに展示させていただいている(人命を守ることが目的との観点から、快くご承諾をいただけた)。</p>
実施状況(写真)	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p>【写真:左】「地域住民の参加による自然・災害・文化の伝承」に係る取組の実施状況(「語り部」希望者への説明会)」</p> <p>【写真:右】「地域住民の参加による地域防災力の向上」に係る取組の実施状況(唐桑コミュニティ創生シンポジウムにおけるパネルディスカッション)</p>
応募団体名	唐桑町観光協会, 唐桑地区自治会連絡協議会, 気仙沼市(代表団体)
リンク	<a href="http://www.city.kesenuma.lg.jp">http://www.city.kesenuma.lg.jp</a>
部局/担当者名	気仙沼市 総務部 危機管理課 鈴木
連絡先	TEL:0226-22-6600[内線262] E-mailアドレス:kikikanri@city.kesenuma.lg.jp
推薦市町村名	気仙沼市